

支えあいが育む・地域の和

ふれあい馬宮

2018年9月号
(通巻第49号)

発行

馬宮地区社会福祉協議会
西区西遊馬533-1
TEL&FAX 048-626-2766
ホームページアドレス
<http://mamiya-shakyo.com/>



洪水ハザードマップ（荒川・入間川版）や浸水（内水）防災マップは西区役所・馬宮支所で配布しています

みんなで、ともに考えよう
自分たちの地域防災

1

日頃からの備え

- 洪水・内水ハザードマップ
(家や地域の危険性を知ろう)
- 避難所と経路・時間を何通りか確認
(日頃から危険個所を把握)
- 非常持ち出し袋・処方薬の準備
- 家族の連絡方法の確認

2

情報を集める

- テレビ・ラジオの天気予報
- 広報車・防災無線等
- 近隣住民との情報交換

3

避難準備をする

水害に備える

自分(家族)の身は、自分で守る

異常気象が続く近年ですが、今年もまた西日本を中心に広範囲に及ぶ甚大な被害が発生してしまいました。

馬宮地区は昔から洪水による被害が多く発生している地域です。田畠が減り、住宅が増えすることで、川の氾濫と同時に内水にも注意が必要になってきました。

馬宮地区自治会連合会では、防災部会を立ち上げ、対策に動き出しています。またさいたま市の研修を受けた5人の防災アドバイザーが、地域の防災意識啓発や普及活動を行っています。

*内水とは、雨の量が下水道などの能力を超え、雨水を排水できなくなり浸水することです。

避難準備・高齢者等避難開始

非常持ち出し袋・処方薬準備
避難に時間要する人
(高齢者・障がい者・乳幼児等)

避難勧告

災害が発生する危険があるため、すぐ避難場所に逃げる

避難指示(緊急)

非常に危険⇒緊急に逃げる
近くの安全な場所や自宅のより安全な場所に避難

早急に避難を完了させる

国土交通省 荒川上流河川事務所にきました

りよ呼らた川がでてもにす東の幾かの県境にある甲武信ヶ岳に流れ出し、入間川・荒川などいくつもの支流で、その川ながら、都

埼玉県の「母なる川」 荒川とは



鴨川への逆流を防ぐ高さ16mある水門。開閉には54分かかります。

明治後半、大正初期にかけたびたび見舞われ、今年でちょうど100年になります。ダム建設は、蛇行した流路の直線化・堤防や横堤の整備・貯水池(彩湖)や水門などが、まさに建設など、さまざまな対策を進めていますが、まだまだ道半ばです。まだまだ建設など、さまざまな対策を進めていますが、まだまだ道半ばです。まだまだ建設など、さまざまな対策を進めていますが、まだまだ道半ばです。まだまだ建設など、さまざま

4

避難時の注意点

- 動きやすい服装・スニーカー
(長靴は中に水が入るので重くなる)
- 濁水なので足元に注意(棒を持つ)
- 車は危険(浸水すると移動が困難)
- ひとりでの避難は危険
なるべく家族・ご近所と一緒に

5

何処に避難?

- 広域避難場所
避難場所の問合せ先
西区総務課 620-2613
- 近所の高く強固な建物の2階以上

長野県佐久市岩村田商店街視察

平成30年度 馬宮地区合同研修

商店街がシャンターパー通りに！

6月 24・25

日の両日、馬宮

地区の社協、民児協、自治連による恒例の合同研修が行われました。



さらに深く振り下げる
商店街の存続のため必要なことは
街の住民に喜ばれて、お役に立つて
定住人口の確保・増加
左手に
コミュニティの担い手
右手に
ソロハシ(盛り)



ムラダ）は中山道の宿場町として栄えましたが、長野新幹線の開通や高速道路の整備が進み、郊外に大型ショッピングセンターができたことで、200mほどの商店街はすっかり衰退し、42店舗中15店が空き店舗となるシャッター通りとなってしまいました。

こうした状況を打開しようとして立ち上がったのが、青年会の若手商店主です。話題性のあるイベントを次々に企画して集客をはかりまし

商店街に吹き込む新たな風



たが、商店街の売り上げ増にはつながりませんでした。
そこで、メンバーで話し合って、「ともに暮らす・働く・生きる」という地域密着型の商店街を目指にすることにしました。

下剋上による役員一掃

ムラダ）は中山道の宿場町として栄えましたが、長野新幹線の開通や高速道路の整備が進み、郊外に大型ショッピングセンターができたことで、200mほどの商店街はすっかり衰退し、42店舗中15店が空き店舗となるシャッター通りとなってしまった。

こうした状況を打開しようとして立ち上がったのが、青年会の若手商店主です。話題性のあるイベントを次々に企画して集客をはかりまし

たが、商店街の売り上げ増にはつながりませんでした。
そこで、メンバーで話し合って、「ともに暮らす・働く・生きる」という地域密着型の商店街を目指にすることにしました。

い「ともに暮らす・働く・生きる」という地域密着型の商店街を目指にすることにしました。

目標せ 延ばそう 介護予防 健康寿命

健康体操＆ボトルボウリング大会

7月7日、120名の参加者が元気にコミセン会場に集いました。

折しも西日本豪雨災害が発生している時、馬宮自治連木下会長から「私達も常

日頃から災

害を想定し

た備えを十分にしてお

きましょう

との強いメ

ッセージを

込めた挨拶

を頂いた後、大会が開始。



始めに、運動支援員の中村さんの指導で、転倒予防や手足の筋力を鍛える運動をし、いい汗をかきました。

次いで、ペットボトルボウリングは、21名の馬

宮東小・馬宮中・土屋中の児童生徒の協力と大きな声援で皆

さん大張り切り。熱気に圧

倒されまし

た。(中野治代)



ご長寿/福祉委員委嘱式開催

今年度の馬宮地区敬老対象者（75歳以上）は2606人。うち100歳以上の方が11人いらっしゃいます。10年前の対象者は1375人。約2倍になり、比例して独居や高齢者のみ世帯が増加。孤独死や老老介護等の問題が深刻化しています。

馬宮地区では、高齢者を地域で見守っていこうという活動を始めて8年になりますが、そんな活動を担う福祉委員さんの委嘱式が今年度も開催されました。

皆さまご長寿おめでとうございます

障がいのある人の気持ちがわかつたよ

第2回子ども福祉体験教室開催

8月3日に

児童センタ
ー・地区社協

コミセンとの

共催で、昨年

の倍以上とな

る小学生32

名が、ボラン

ティアグル

ープ「シャンテ

イ」の指導のもと、車椅子と白杖体

験にチャレンジしました。

ペアになって声を掛け合い、車椅子に乗った感触や視界を確認、介助の際には曲がり角や少しの段差に



苦戦し、アイマスクを付け白杖で歩いてみると、その怖さに驚いたとの声が聞かれました。

講師のお話

の中に、生まれつき視覚障害がある小さな子どもが「見えるってなあに?」と聞いたという言葉の意味を考え、いつかいろいろな障害に自然に寄り添える今回の体験であつてほしいと思います。

支部による 「介護に関する講演会」開催

第一支部(二ツ宮)南区集会所 みらい

平成30年11月7日(水) 10時~

第二支部(北部)上サ自治会館

平成30年11月11日(日) 13時半~

第三支部(右岸)飯田新田集会所

平成31年2月2日(土) 14時~

第四支部(中部)土屋自治会館

平成30年10月25日(木) 13時~

支部活動

(右岸4自治会)主催
健康体操&ペットボトル
ボウリング大会



馬宮西小学校体育館にて(6月30日)

[ひだまり]スタート



7月18日、
馬宮地区の子育て
サロン「ひだまり」
がスタートしました。
気温が35度を超える猛暑の中、
ベビーカーを押して11組の親子
が公民館の和室に集まりました。

運営責任者の近藤さんや馬宮地区的主任児童委員達を中心に、リズム体操や手遊びなどをとおし、親子の絆を確かめ、また親どうしの新たな出会いもありました。

編集後記

日本がおかしい。

いや、地球がおかしい。ここ数年自然災害が多くなっています。地震・洪水・干ばつ・火山噴火等世界各地で起っています。洪水ハザードマップ・浸水防災マップを取り寄せて見てください。自分の住んでいる地区はどうですか。いつ起きるかわからない自然灾害、今一度家族・ご近所で話し合ってみてはいかがですか。

第8回 絆コンサート・イン まみや (コミセン多目的ホール)

入場無料

11月23日(金・祝日)

開場 午後1時~

開演 午後1時30分~

出演 1部 つちや吹奏楽団

2部 マリンバプロムナーズ

お知らせ

